

ポスターセッション

—くらしの足のために日夜がんばっているみんなの活動報告—

今年は全国各地から地域住民、事業者、研究者、自治体、企業など約60団体が、活動内容やサービスの紹介などの発表を行います。

部屋番号	ポスター数
A201	8
A202	9
A203	8
A204	9
A205	12
A206	12

コアタイムについて

以下の時間帯（コアタイム）は、各出展団体の説明員が常駐しています。質問、意見、感想など、ぜひ気軽に声をおかけ下さい。

出展番号が	奇数	のポスターは	12時50分～13時40分
出展番号が	偶数	のポスターは	13時40分～14時30分

(昨年のポスターセッション風景)



展示教室 A201

1	地域活性化のための最新システムと事例について
	株式会社ユニ・トランド 布川 和基
<p>株式会社ユニ・トランドは IoT 技術を活用し移動体の位置情報の提供・バスの乗降者数や顔認識・認証技術を活用したお客様の属性(性別・年齢・民族)を、将来的に街づくりに活用できるサービスを提供しています。またその他にも運転手の体調管理、居眠り防止のシステムや AI 窓口など最新事例がございます。</p>	
2	運輸デジタルビジネス協議会 (TDBC) の取り組み
	(一社) 運輸デジタルビジネス協議会 鈴木 久夫
<p>運輸デジタルビジネス協議会 (※) とその会員による以下の取り組みをご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ MaaS やインバウンドの取り込みなどによる持続可能な地域交通の実現・ 新しい地域物流網による買い物弱者の支援、地域経済の活性化、再配達問題の解決 <p>(※略称 TDBC 運輸事業者と ICT などのサポート企業が連携してともに課題解決にあたる協議会。設立 2 年で法人会員数約 100 社)</p>	
3	弘南バスによる乳幼児・小学校低学年向け MM 教育座学ツールの作成～紙芝居「リンゴちゃん バスでおでかけ」について～
	弘南バス株式会社 大野 悠貴
<p>弘南バスでは平成 27 年度から、地域の方々に向けて、バスを日々の暮らしに「プラスα=ちょい足しする」ご提案をしていく『バスぷらすプロジェクト』を実施している。平成 28 年度からは子どもの成長過程に合わせた MM 教育プログラムの実践を始め、いくつかの座学プログラムを作成した。その中で、乳幼児から小学校低学年の子どもたちにバスの利用方法やマナーを学んでいただくため、紙芝居を用いたプログラムを作成した。</p>	
4	路線バス運転体験&合同就職相談会による運転手確保事業
	一般社団法人北海道開発技術センター (取組主体: 北海道総合政策部交通政策局交通企画課) 吉田 隆亮
<p>北海道庁では、深刻なバス運転手不足の対応策として旭川周辺のバス事業者 3 社と共同でバス運転体験と合同就職相談会を開催した。いつもはライバル同士のバス事業者がタッグを組むことで、バス運転手希望者の掘り起こし、募集・採用コストの縮減、採用ノウハウの獲得といったメリットが発生し、イベントでは 73 名の参加者を得て、12 名が求職うち 9 名が採用に結びつくほか、その後も多くのメディアで紹介され、バス運転手確保策のモデル事業となった。</p>	
5	バス運転手専門の求人サイト・バスドライバーnavi(どらなび)
	リッツMC株式会社 中嶋 美恵
<p>「バスドライバーnavi(どらなび)」は、日本最大級のバス運転手専門の求人サイトです。全国的に不足しているバス運転手の採用促進を図るべく、インターネットを使って日本全国のバス事業者とバス運転手になりたいユーザーをマッチングしております。</p>	

6	女性バス運転手が活躍する明日へ これからの「女性バス運転手」という生き方。
	一般社団法人女性バス運転手協会 中嶋 美恵
<ul style="list-style-type: none"> ● 国内の女性バス運転手比率はわずか 1.5%・・・。 国外では 5:5 という国もあります。 ● 深刻なバス運転手不足の解決に女性の採用は欠かせません。 ● 女性バス運転手のコミュニティ形成、リサーチ・マーケティングにより、課題を 抽出し、情報を発信し、採用～定着へ導くことを目的としています。 	

7	バスロケーションシステムの導入によるオープンデータ戦略
	一般財団法人 地域公共交通総合研究所・株式会社リオス 平田 康之
<p>バスロケーションシステムの導入と、バスロケを利用したオープンデータ提供までの道のりと更なる改善に向けた取り組みをご紹介します。</p>	

8	自動運転バス 実用化の開始へ
	SB ドライブ株式会社 佐治 友基
<p>SB ドライブは、2019 年に本格的サービス実証を行います。自動運転バスのデモを通して得た洞察と、必要な制度整備についての提案を発表します。</p>	

展示教室 A202

1	地域の支え合い活動「コミュニティ・カーシェアリング」と災害時における「モビリティ・レジリエンス（移動の回復）」
	一般社団法人日本カーシェアリング協会 吉澤 武彦
<p>宮城県石巻市で震災後始まった「コミュニティ・カーシェアリング」、市内8地域約250人（平均年齢73歳）の方々が支え合いの活動として実践されています。石巻以外の地域での実践も始まったので、石巻の事例に加えて、導入プログラムについてもご紹介します。また、災害支援活動も行っており、現在倉敷市真備町で約90台の車を集め貸し出しを行っています。私たちがなりの「モビリティ・レジリエンス」についても紹介します。</p>	

2	日本全国バス停探訪の旅、ミニ写真展
	バス停写真家 柴田 秀一郎
<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年間に渡って連載中の講談社「バスマガジン」の連載記事のPR ・ 柴田秀一郎写真集「バス停留所」の普及のためのPR ・ 日本全国を撮影したバス停写真の一部のオリジナルプリントを展示 ・ 今年9月5日開催の国土交通省関東運輸局主催の「公共交通フェスタ」でスライドショーした内容をパソコンで展示 ・ 今後も、日本全国取材するために、バス関係者との交流を促進するため 	

3	変わらなきや 変われない 地域輸送のユニバーサルデザイン
	NPOアイタク太田 中嶋 好
<p>NPOの乗合タクシーを人口3千人の田舎に走らせて11年、「バス停まで歩いて来い」だけの公共輸送が税金で空っぽで走って・・・子どもから年寄りまでの交通弱者が545人の会員登録。年中無休が3,600日稼働・25,000人輸送・1人につじやない移動のニーズが高齢者の診察の必要性を教え、車いす利用者も1人暮らしも増え続けて人としてやるべき事を教えます。</p>	

4	地域・地区担当制タクシーのしくみ
	株)エディラインソリューションズ 松田 吉広
<p>多様な市民が生活移動に困っている色々な問題、事業者がUDタクシーで地域貢献をしながら財務利益を上げたい課題、行政が交通企画でCIVIC-PRIDEを構築していきたい構想、このような三者がWIN-WIN-WINになるように包括的にアシストするしくみ、「タクシーシェアリング狭域限定近距離運行方式」とモビリティマネジメントとして「おもいやりタクちい倶楽部」の活動をご紹介します</p>	

5	子育てタクシーがアプリ活用で出来る事
	一般社団法人全国子育てタクシー協会 大野 慶太
<p>平成18年より安心・安全な移送を通じて、子供のすこやかな育ちの支援、子育て中の親をはじめとする保護者を支援するという理念のもと、全国各地で「子育てタクシー®」を運行しています。全国子育てタクシー協会の取り組みについてご紹介します。また、子育てタクシーとタクシーアプリ機能について、利用者、子育て支援団体、NPOとアイディアソンを実施しましたので、そこから得られた結果を報告、さらなる子育て世帯向けのタクシーサービスについて提案します。</p>	

6	みんなのタクシー ～障がい児・者、付き添いなしで乗るタクシー～
	みんなのタクシー推進プロジェクト 清水 弘子
<p>障がいのある人たちは移動に様々な困難を抱えています。バスや電車などの公共交通も必ずしも利用しやすいものではなく、また、移動を支える家族の負担も小さくありません。プロジェクトでは、障がいのある人も「もっと普通に・当たり前」に移動手段としてタクシーが選べる地域・社会を目指し、交通事業者も含めた地域の人と障がいについての相互理解を深めることで、移動しやすい社会づくりの一步としたいと思います。</p>	

7	超高齢社会、ドライバー不足時代のバス・タクシーの近未来像
	地域科学研究会 緑川 富美雄
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「超高齢社会の移動手段の確保・開発戦略」では、「超高齢者は新人類」の視点で公共交通を考え、福祉との連携や地域参画、客貨混載などを提案している。 ・ 「タクシー・イノベーションと乗務員不足対策への挑戦」では、ライドシェアの実態からタクシーサービスを構築するとともに、ドライバー不足対策としてのコミュタク等を報告している。 	

8	東京交通新聞の歩き方。
	東京交通新聞社 竹ノ内 博美
<p>地域公共交通を全国的に取り上げ、応援している大判の新聞です。もうすぐ還暦を迎えます。国の政策や将来を取り上げる1面から個人営業のタクシー事業者の日常を取り上げる8面までそれぞれの紙面のポイント、裏読み・斜め読み、トリビアネタまで、新聞の活用法をお伝えします!!!</p>	

9	グリーンスローモビリティ電動カート Rexhope「IoT 環境構築について」
	エコ×ユニバーサルな松江のまちづくりを考える会 岩本 雅之
<p>島根県松江市で行われている地域共助型モビリティの実証実験の様子と、既存の技術を応用したIoT環境の構築等、現在の状況を説明させていただきます。</p>	

展示教室 A203

1	福祉有償運送の活動
	神奈川 W.Co 連合会 移動サービス部門 佐藤 景子
<p>神奈川県内で移動サービス（福祉有償運送）をしている NPO 法人の集まりです。W.Co（ワーカーズ・コレクティブという雇うのでも雇われるのでもなく、皆が経営者で労働し、出資する）という働き方を通して、活動している様子を写真や動画を中心に紹介します。</p>	

2	瀬戸市菱野団地住民バスの取り組み
	早稲田大学スマート社会技術融合研究機構 井原 雄人
<p>愛知県瀬戸市菱野団地における住民主導型バスの取り組みについて紹介する。 菱野団地はいわゆるオールドニュータウンであり、団地全体の高齢化によりこれまで利用してきた路線バスの利用が困難になった住民が多く存在する。 これに対して、地域の自治会が主導し団地内の within one mile を巡回する住民バスが 2017 年の実証運行を経て、2018 年 8 月より本格運行が開始された。</p>	

3	多様な地域に対応した移動のあり方を考える
	特定非営利活動法人 ITS Japan 大月 誠
<p>ITS Japan では、多様な地域に対応したあらゆる交通や移動の諸問題を、まちづくり、環境、福祉、防災減災、等の様々な視点で捉え、そこに IT 技術の活用を図ることにより、地域住民の生活向上と経済の活性化を目指す“地域 ITS”に取り組んでいます。自治体、関連活動主体者との情報連携や交流活動など、これまでの地域 ITS 活動を基盤にしなから、今後は、国・自治体の動きと連携した活動の推進も取り組んでいきたいと考えています。</p>	

4	高齢者向け健康増進のための乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」
	アイシン精機株式会社 野々山 茂男
<p>愛知県豊明市仙人塚エリアで健康増進を目的としたオンデマンド型乗合送迎サービス「チョイソコとよあけ」の実証実験を'18年7月より開始（豊明市、スギ薬局と連携）。</p> <p>現在は、地域を限定して無償で運行しており、エリア拡大しながら平成31年1月から有償での運行に切り替える予定。</p> <p>単なる移動手段だけでなく、市の高齢者福祉部署とも協業し積極的な外出を促すような目的作りを行い、利用者増につなげ、好循環を生み出す。</p>	
5	乗合いタクシーへのICカード定期券導入
	九州国際大学 神力 潔司
<p>枝光やまさか乗合ジャンボタクシーでは、利便性を高めるため、平成30年10月1日から乗り放題定期券『えだみつノリノリパス』を新たに導入しました。この「えだみつノリノリパス」は、一カ月3,500円で「全路線」「何度でも」乗り放題の定期券です。この定期券で収集されたデータをもとに、ルート、バス停、ダイヤ、バス乗継の再確認を行うと共に、商店街の販売促進、八幡東署（免許返納制度）との連携、病院、学校、塾などの会員証などとICカード相互利用を今後検討します。</p>	
6	みんなで作る地域に合った移動の仕組み
	一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金 男鹿谷 尚子
<p>地域にあった移動の仕組みづくりの方法の一つとして「自家用有償旅客運送」があります。「自家用有償旅客運送」に住民とともに取り組むためのガイドブックをご紹介します。ご希望の方に配布（無料）いたしますので、参考になさってください。</p>	
7	東日本大震災から15万人を送迎してきた助け合い送迎活動のあゆみとこれから
	特定非営利活動法人 移動支援 Rera 村島 弘子
<p>被災地支援のボランティアとして始まった一時的な移動支援活動を、地元の被災住民みずからが引き継いで7年間のべ15万名以上、地球36周以上を走り続けてきました。災害時の移動支援活動と、全国に共通する助け合い送迎の参考にさせていただくための冊子を作成しました。ご活用ください。でも」後検討します。</p>	
8	総合事業 de 移動・外出支援 Let's start
	全国移動サービスネットワーク 伊藤 みどり
<p>介護予防・日常生活支援総合事業が2015年度に始まって3年がたちました。住民主体の移動・外出支援も少しずつ増えていますが、必要性を感じていてもハードルが高いと思いませんか。ここでは、各地で始まった活動を6つの典型的なプランにまとめて示します。「住民力と地域力でやってみたら…こんなことができました。」きっとあなたの地域でもできるプランがあるはずです。</p>	

展示教室 A204

1	富山県での「標準的なバス情報フォーマット」整備の取り組み
	富山県, 富山大学, Code for Nanto, Code for Takaoka, コード・フォー・トヤマ・シティ 東出 賢一
<p>2018 年度に富山県内の民間バス事業者、およびコミュニティバスを運行する市町村らが自ら「標準的なバス情報フォーマット」でバスの時刻やバス停の位置情報を作成し、インターネットでオープンデータとして公開するためのセミナーを、富山県、富山大学、富山県内の市民団体 Code for Nanto、Code for Takaoka、コード・フォー・トヤマ・シティが協力して開催しています。</p>	
2	地方都市圏における公共交通先進地域を目指す官民学連携の取り組み－富山県の公共交通を対象に－
	富山大学都市デザイン学部都市政策支援ユニット 中川 大
<p>富山県内の公共交通利用者数は、鉄道・軌道・バスのいずれにおいても増加しています。行政による利便性向上や情報提供に関する施策の実施のほか、民間組織等による利用促進や啓蒙活動も活発に行われています。富山大学都市デザイン学部都市政策支援ユニットはこれらの政策や活動と連携して地方都市圏における公共交通先進地域の構築を目指しています。本発表では、それらの施策や活動内容とともにこれからの目標等を紹介しします。</p>	
3	「Dia Brain」～バスロケータを用いて遅延の少ないダイヤを自動生成～
	(株)トラフィックブレイン 太田 恒平
<p>バスロケータを用いて、早発を防ぎながら遅延の少ないダイヤを自動的に生成する「Dia Brain」の紹介です。 「毎日遅れるダイヤを修正したい」「バスロケータが溜まっているが使いこなせない」「属人化しているダイヤ改正作業を近代化して引き継ぎたい」そんな悩みを解消します。 両備バスにて導入し、遅延時間を半減させた実績とあわせてご紹介しします。</p>	
4	標準的なバス情報フォーマットによる公共交通オープンデータの推進
	標準的なバス情報フォーマット広め隊 伊藤 昌毅
<p>2017 年 3 月に国土交通省より「標準的なバス情報フォーマット」が公開され、以降全国でこのフォーマットに基づくオープンデータの公開が相次いでいます。データ整備によって、利用者のスマートフォンを使った高度なバスの案内が実現するだけでなく、路線バスの事業そのもののデジタル化や効率化を実現する事業者も出てきています。データ作成ツールの開発や、県などによるデータ整備推進事業も進んできています。この発表では、全国の最新事例を紹介しします。</p>	
5	設立 6 年目を迎えた井笠バスカンパニー 利用促進の取り組み
	株式会社井笠バスカンパニー 村上 耕規
<p>(株)井笠バスカンパニーは岡山県西部の笠岡市、広島県東部の福山市を中心に 5 市 1 町に路線網を広げるバス事業者です。前事業者の突然の会社清算を受け、急遽路線網を引き継いでから今年で 6 年目を迎えました。運行本数も前事業者時代から減少したままで、利用者もなかなか増やすには至っていませんが、「地域の皆様の足」として、まずはバスそのものを知り、親しんでもらおうと、さまざまな取り組みを行ってきました。本日はそれらの取り組みについてご紹介しします。</p>	

6	くらしの足を気軽に、楽しく－福島県内のバスパックと定額タクシーの実証実験－
	福島大学吉田ゼミ＋郡山観光交通 吉田 樹
<p>大学と交通事業者が連携して、くらしの足を支える路線バスやタクシーを気軽に、楽しく利用できることを目指す取り組みです。子育て世代やプレミアム世代をターゲットにした会津若松市内のバスパックの取り組みや、郡山市と白河市で開始された定額タクシーの実証実験を紹介します。</p>	

7	「バスを知る」「公共交通マップを読みこなす」勉強会の開催について
	バスマップ沖縄 谷田貝 哲
<p>沖縄県立看護大学が主催する「沖縄高齢者研究会」参加者を対象に、バスマップの読み方や、バスの乗り方使い方（系統番号のルール、お得な運賃、バスロケの使い方など）を説明する勉強会を2日間にわたり実施した。勉強会では「マップがあればバスの利用頻度が増えそう」「バス利用の練習と自分自身の意識改革が必要と思っています」等、好意的な感想が寄せられた。</p> <p>5か月後の追跡調査では、回答対象者17名のうち、マップ入手をきっかけとしたバス利用が「あった」が10名、日常的なバス利用頻度が「増えた」が8名に上るなど、バスを知り、学ぶ機会を設ける一連の取り組みに、交通行動の変容を促す効果があることが示された。</p>	

8	福岡県内自治体公共交通へのICT支援における産官学連携の取り組み
	九州産業大学 稲永 健太郎
<p>九州産業大学工学部情報科学科稲永研究室では、コミュニティバスを主とする福岡県内の自治体公共交通へのICT支援の取り組みを進めている。2018（平成30）年度は、福岡県内10の市町および企業と連携し、独自システムを用いた利用・運行状況調査、ならびに経路検索のための基盤データ整備をそれぞれ実施している。本発表では、今年度の取り組み事例を中心にその詳細を紹介する。</p>	

9	「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」
	～「移動」を通じて、個人のライフスタイルから地球のことまで考えよう！～
	一般社団法人カーフリーデージャパン 谷本 文子
<p>人口減少・高齢化、地球温暖化などの問題に直面し、持続可能な社会の構築が叫ばれる中、「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」は、「移動」を切り口に、個人のライフスタイルから、まち、地球のことまで、市民と行政が一緒になり、考え行動する環境交通週間（9/16-22）として、世界中で実施されています。国内でも、毎年、10都市近く参加しています。住民主体の交通まちづくりの入口として、ぜひ、あなたのまちでも、ここからはじめませんか？</p>	

展示教室 A205

1	定住を推進するために公共交通にできること～中津川市の取り組み～
	中津川市定住推進部定住推進課 柘植 良吾
<p>2018年3月に策定した中津川市地域公共交通網形成計画では、「住んでよかった、住んでみたい街に。」を基本方針に掲げ、この街にいつまでも定住していただくために公共交通にできることは何かを追求することとしました。</p> <p>基本方針を達成するために、①定住を支える公共交通、②観光と利用促進、③運転手不足の解消という3つの大きな柱のもと、計画に基づいた事業を企画し、着々と事業を展開しています。</p> <p>中津川市が取り組む地域公共交通網形成計画の策定から、各種事業実施の経緯などをご紹介します。</p>	
2	NPO 法人再生塾による総合的な交通政策の実現を担う人材育成と支援の取り組み
	NPO 法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾 土井 勉
<p>なぜ、総合交通政策は実現しないのだろうか？</p> <p>制度や予算の制約も大きいし、行政・事業者・住民等の関係についても正解があるのかどうかもわからない。でも、日々の交通問題は待ったなしの状況だ。こうした状況に対して、故北村隆一先生（京都大学大学院教授）を中心に自分たちで出来ることとして、人材育成に取り組むことになった。再生塾の誕生である。「互学互習」「ビジョンとドリーム」を理念として11年間にわたって活動を行ってきた。延べ1,000人を超える塾生の皆さんに来ていただくことができた。この活動を全国の皆様に知っていただくこと、今後の参加のきっかけになればと考えポスターの紹介をさせていただきます。</p>	
3	コミュニティバス予約、運行状況通知システム
	株式会社ジーネックス 柴田 俊
<p>コミュニティバスの予約システムや、バスの位置情報をリアルタイム表示できるシステムを開発、運用サポートします。</p>	
4	認知症者の外出と交通機関の利用に向けて
	交通エコロジー・モビリティ財団 松原 淳
<p>あなたは認知症になりますか？多くの方々は他人事のように感じていると思いますが、高齢者の有病率は15%とされており75歳を過ぎてから急に高まり、85歳を超えると27%に上がります。もはや他人事ではないのです。さらに、認知症と診断される前の長い期間に認知機能が低下している方は相当数いて、その方々は町へ出て活動しています。認知症だからと外出を制限されたりしていいのでしょうか？われわれは認知症になっても交通機関を安心して利用できるように研修やサポートカードの展開をしています。</p>	
5	ゆめ旅 KAIGO!2020～学生の視点から考えるモビリティ～
	ゆめ旅 KAIGO! 2020 田口 さくら
<p>2020年のオリパラ当日、中には障害を思い、行く事を諦めている当事者の方もいます。私達は学生委員としてゆめ旅 KAIGO という団体に所属しています。活動をする中で、実際に車椅子で街中を移動しました。その中で、普段は気づかないバリアを感じました。また、学生が関わる事で同世代の方々がより障害や高齢者に対して関わりやすい環境づくりに繋がるきっかけに私達がなりたいという思いを伝えたいと思っています。</p>	

6	<p>中山間地域における超小型モビリティの利用可能性の検証—地域特性の異なる3地域を対象として— 岡山大学大学院環境生命科学研究科 藤原 淳貴</p>
<p>持続的な生活交通の維持・確保が重要な課題として挙げられる中山間地域において、超小型モビリティ(MEV)が、新たな生活交通手段として注目されている。本研究では、生活関連施設等が充実している「拠点」、拠点に次ぐ地域である「準拠点」、山間部に位置し生活関連施設や交通サービスが不十分である「集落」といった地域特性の異なる3つの中山間地域を対象に実施したMEV実証実験(住民モニターへのMEV貸出、ヒアリング調査等)に基づき、中山間地域におけるMEV利用可能性を検証した。</p>	
7	<p>八戸市におけるバスパックの販売実績と可能性 (一社)北海道開発技術センター東北事務所/八戸市地域公共交通会議 関下 和裕</p>
<p>八戸市地域公共交通会議では、「バスでのおでかけ」を促すべく、バス運賃と施設の利用料等がセットになった商品「バスパック」を企画・販売している。開始から5年が経過した今年度は、販売枚数が前年度比50%以上の増(市内のパック)で推移するなど、バス利用促進・収入確保に一定程度寄与してきたと言える。これまでの実績を踏まえ、バスの利用「率」の変化やFITとの関連、情報発信のあり方などを分析すると共に、今後の展望・可能性を検討する。</p>	
8	<p>「グリーンスローモビリティ」～Green! Slow! Safety! Small! Open! 地域を開く New Public Mobility!～ 国土交通省総合政策局環境政策課 島 めぐみ</p>
<p>グリーンスローモビリティとは、電動で時速20km未満で公道を走ることが可能な4人乗り以上のモビリティで、地域が抱える様々な交通の課題の解決と、地域での低炭素型モビリティの導入を同時に進められる事が期待されています。現在、国土交通省では普及推進のためにシンポジウムや実証調査などを行っており、導入にあたっての支援を行っています。グリーンスローモビリティの特長や導入にあたってのポイントなどご説明致します。</p>	
9	<p>高齢ドライバーを対象とした公共交通への利用転換策について 特定非営利活動法人SCOP 富樫 慎</p>
<p>長野県木曾町における高齢ドライバーを対象とした公共交通への利用転換策について紹介する。高齢ドライバーの「運転することの権利」や「運転技術への自信」などに配慮しつつ、高齢運転の危険性や公共交通の有用性について話し合う4回シリーズの座談会を開催。とりわけ、高齢者がもつ愛郷心や社会参画意識などに上手く働きかけることで、大半の参加者に意識変容がみられ、バスを利用した生活にトライするという行動変容が確認できた。</p>	
10	<p>新潟市における高齢者バス運賃割引施策の多面的効果分析 エヌシーイー株式会社 高橋 貴生</p>
<p>本発表は、新潟市における高齢者バス運賃割引施策(高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」)を対象として、施策参加者・非参加者へのアンケート調査データから、施策の多面的な効果を分析したものである。分析の結果、本事業は参加者(高齢者)への多面的な効果が確認された。</p>	

11	地域公共交通ネットワークの形成
	国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 交通計画課 平林 卓也
<p>地域公共交通ネットワークは、自治体・交通事業者・住民の皆さんがみんなで形作るものです。地域が一体となって、より良い公共交通の計画を作成するためのポイントをお伝えします。</p>	

12	高齢者の移動手段の確保
	国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 交通計画課 平林 卓也
<p>今後さらなる高齢者の増加が見込まれる中、運転に不安を持つ高齢者が、自家用車に依存しなくても生活できる環境の整備は、極めて重要な課題となっています。国土交通省を中心に、「高齢者の移動手段の確保に関する検討会」を開催し、同検討会の中間とりまとめに基づいた様々な取組を行っております。取組の中で主なものを紹介しますので、地域内の交通手段の検討にご活用いただければ幸いです。</p>	

展示教室 A206

1	ライドシェア送迎サービス together (トゥゲザー)
	株式会社モーシオン 和田 彩輝
<p>データ分析をコアコンピタンスとするシステム開発会社と都内大手タクシー会社が共同運営する、ラスト1マイルエリアを活性化するための送迎サービスのご紹介。お子様からお年寄りまで安心・安全にご利用いただけるライドシェアを実現するための取り組みや技術、サービスについてご案内致します。</p>	

2	全国対応「バス停検索」のデータ更新するコミュニティのご紹介
	バス停検索(青い森ウェブ工房) 福田 匡彦
<p>全国のバス停を地図上から探せる無料サービス「バス停検索」のデータを日々更新しているコミュニティのご紹介。路線バス関連データは膨大で維持は難しいものですが、一部地域では全国の有志により日々データ更新を行っています。また、バス関連データの標準フォーマットやオープンデータ活用についてもご説明します。</p>	

3	たった 65 日でタクシー会社が高収益事業を立ち上げた話
	office.Dosho 道正 恒
<p>地域にいつまでも残り続け、自動運転の普及、ライドシェアの拡大などの外的要因に負けないタクシー会社の絶対条件は、「高収益性」・「ストックビジネス」・「省・人件費」です。今回、最新事例で法人向け送迎代行ビジネスという、新しい高収益事業をたった 65 日で成功させたタクシー会社様の成功事例をご紹介します。</p>	

4	高齢者のマイカー依存脱却に向けた公共交通利用促進事業
	一般社団法人北海道開発技術センター（取組主体：国土交通省北海道運輸局交通政策部交通企画課） 竹口 祐二
<p>北海道運輸局では、H29 年度に北海道釧路市において、高齢者のマイカー依存脱却に関する取組を実施しました。高齢者クラブ向けのレクリエーションでは、路線バス乗車体験やワークショップを実施し、その結果、参加者のマイカー利用抑制意識が 30%も向上しました。また、公共交通利用の動機付けとなる情報を作成し、高齢者とその同居家族に効果的な情報を明らかにしています。</p>	
5	新しい観光スタイル「ツーリストタクシー」
	WILLER 株式会社 芳野 圭太
<p>日本には数多くの観光地が存在しているが、複数の交通を乗り継がなければならず移動に時間がかかる、交通手段がないため行ける場所が限られてしまうなど、交通の課題も多く存在している。そんな課題を解決するために、行きにくい場所にある観光地や今まで顕在化されていなかったコアな観光地を結ぶ新しいサービス「ツーリストタクシー」をスタートした。また誰でも利用できるように多言語での展開や、ユニバーサルタクシーを活用した高齢者の方も気軽に旅に出れるサービスを想定している。</p>	
6	ドコモの考える M a a S とその取り組み ～A I 運行バスの進化～
	株式会社 N T T ドコモ 榎島 章人
<p>生活や観光における移動に関する社会課題の解決手段の一つとして、近年、鉄道やバスなどの異なる移動手段を統合し提供する MaaS が注目されています。ドコモは移動手段に加え、目的地のサービスを MaaS プラットフォームとして統合することで、移動手段と目的地の様々なサービスとの連携を促し、くらしの足における課題解決、外出機会の創出、そして地域経済の活性化の一助となれるよう、A I 運行バス(R)を軸とした取り組みを各地で進めています。</p>	
7	「タクシー注文支援アプリ：ゆびタク」「アプリ不要のタクシー注文支援：スマプレ・タクシー」 「WEB 予約決済：taxisite plus」
	株式会社システムオリジン 辻 裕
<p>個社の特色や取り組みを生かした配車アプリ「ゆびタク」。アプリのダウンロード無しにスマホをかざすだけで注文画面を表示する「スマプレ・タクシー」。定額タクシーや観光タクシープランをホームページ上で販売・事前決済出来る「taxisite plus」。タクシー専門 30 年のシステムハウスとして、利用者の方により便利に使って頂き、事業者の方に是非導入したいと感じて頂けるシステムやサービスを提案し続けております。</p>	
8	ミャンマー国ヤンゴンにおける交通管理に関する社会実験のとりくみ（JICA・国交省連携）
	株式会社アルメック VPI 太瀬 隆敬
<p>開発途上国の都市交通問題解決に向けた取り組みとして、JICA・国交省が共同で実施した、交通管理に係る社会実験の取り組みを紹介します。種々の交通問題が見られるヤンゴンのショッピングセンター前を対象に、①自家用車・タクシーの適切な乗降の規制・誘導、②U ターン可能箇所の統制、③適切なバス乗降に向けた啓蒙、④ポール設置による乱横断、⑤U ターンの抑制、⑥学校送迎車輛のコントロールを行い、いくつかの指標を基に評価を検証しました。</p>	

9	お届けしたいのは、現場のニーズに応える福祉車両。
	(株)東和モーターズ販売 梶原 定明
<p>介護の現場の生の「声」を聴いて開発する当社製品は、大手自動車メーカー製品とは違う独創性が評価されておりま す。座席レイアウトや車いすの搭載、機材荷物積載のスペース配分などの変更が自由自在。だから車いすをご利用の方 に限らず、大型スーツケースを持った旅行者から、ご高齢者、車中泊まで、UDタクシー・福祉車両など様々な使い方 が可能です。まさに送迎のプロの方々へこそご提案差し上げたい製品です。</p>	

10	トラベルヘルパーで移動の安心を！
	株式会社 SPI 篠塚 恭一
<p>より楽しく、より安心して、外出を楽しんでいただけるよう、トラベルヘルパーは外での介助スキルやバリアフリー調 査のアンテナをはって日々研鑽しています。お気軽にお声がけ下さい！</p>	

11	タクシー車内でスマートフォンによる新クラウド決済システム
	株式会社パイ・アール 安田 将佑
<p>全国 2500 台以上導入実績突破。都内で約 1400 台稼働中。 クレジットカード決済から各種電子マネー決済は勿論、QR 決済まで可能！ クレジットカード決済は EMV 決済対応。シンクライアント方式電子マネー決済は交通系電子マネー利用認可取得済み。 QR 決済は WeChatPay・AliPay・LINE Pay に対応。スマートフォンとメーターは専用 Bluetooth による通信で料 金・ステータス連動。 次世代の機能にも決済専用機ではないから適応可能。是非、一度ご覧くださいませ。</p>	

12	ソーシャルケア・デザイン by トリニティ
	トリニティ株式会社 湯浅 保有美
<p>私達は、デザインコンサルティング会社です。 現場の事実やニーズ、そしてその根底にある「感情」や「期待値」を調査スキルで救い上げ、デザイン思考をはじめ とするデザインの手法でクリエイティブな未来を創りだしています。 私達には伴走してくれる、若い現場のプロフェッショナル・コミュニティがいて、ソーシャルワーカーを中心とし た、福祉・医療・子育て事業に従事する専門家達です。 彼らは、「パイ型モニター」。パイ型とは、その文字が示すとおり、複数の専門性を持った上で、それを複合し客観 視できるチカラのある人材です。 今回は彼らとともに、活動した事例を織り込みながら、活動紹介をいたします。</p>	